



令和4年3月31日

株式会社 中国銀行

ちゅうぎんインフィニティファンドによる 株式会社インゲージに対する投資決定について

当行ならびに中銀リース（岡山市北区丸の内一丁目14番17号 取締役社長 西明寺 康典）は、スタートアップ企業を出資対象とする『ちゅうぎんインフィニティファンド』が株式会社インゲージ（大阪府大阪市、代表取締役 和田 哲也）の実施する第三者割当増資を引受けましたことを、お知らせいたします。

インゲージは、社内外コミュニケーションを一元管理し、チームで共有することが出来る問い合わせ管理クラウド「Re:lation[※]」を開発・提供するスタートアップ企業です。

お客さまからの問い合わせ方法は多様化しており、問い合わせ対応業務においては、「対応漏れ」や「二重対応」、「不十分な対応」など企業ブランドを左右するさまざまな課題が存在しています。そのような課題を、インゲージが提供する「一人ひとりに向き合える」を具現化するコミュニケーションツール「Re:lation」が解決します。多様な機能で問い合わせ対応部門の効率を向上することで、ユーザーのビジネスチャンスを拡大することが期待されます。

引続き当行グループでは、革新的なアイデアやビジネスモデルを有するスタートアップ企業との連携を通じて、地域社会のさらなる発展に向け活動してまいります。

※Re:lation（リレーション）

メールや電話、LINE、Twitterなど、複数チャネルの問い合わせを一画面に集約して表示し、複数ユーザーで共有・管理できる画期的な顧客対応ツールです。業界で唯一グッドデザイン賞を受賞しており、既に3,500社を超える事業者にご利用されています。

1. 投資案件の概要

投資先名（本社所在地）	株式会社 インゲージ（大阪府大阪市）
代 表 者	和田 哲也
設 立 日	平成26年1月11日
事 業 内 容	問い合わせ管理クラウド 「Re:lation（リレーション）」の開発と提供
投 資 金 額	30百万円
U R L	https://ingage.co.jp/

【株式会社 インゲージ 代表取締役 和田氏からのコメント】

令和2年のシリーズCの資金調達を経て、本当に多くのお客様、関係企業の皆様、そして金融機関や投資家の皆様のご支持やご支援で当社は大きく成長をさせていただきました。このような背景から、また多方面に渡る戦略検討によりさらなる成長のためにシリーズDの調達を行うこととしました。この取り組みにおきまして、中国銀行グループ「ちゅうぎんインフィニティファンド」より当社に出資いただく運びとなったことを大変嬉しく思っております。

中国銀行本店所在地である岡山は、当社が提供する問い合わせ管理クラウド『Re:lation』のリリース初期、まだ顧客が今よりもずっと少なかったときに引き合いをいただき、私自身が自動車を運転してお伺いした思い出深い場所です。全国に事業を展開されるその企業様に Re:relation を導入いただいたことは大きな自信につながりました。そして5年近く経った今でも Re:relation をご利用いただいていることは、当社の理念である「お客様の本業に注力できるサービスを提供する」ことの一つの表れではないかと感じております。

中国地方という視点においても個人的ではありますが、私の父が島根県の、私の母が鳥取県の出身であり、子供の頃からたくさんの思い出が詰まった場所でもあります。

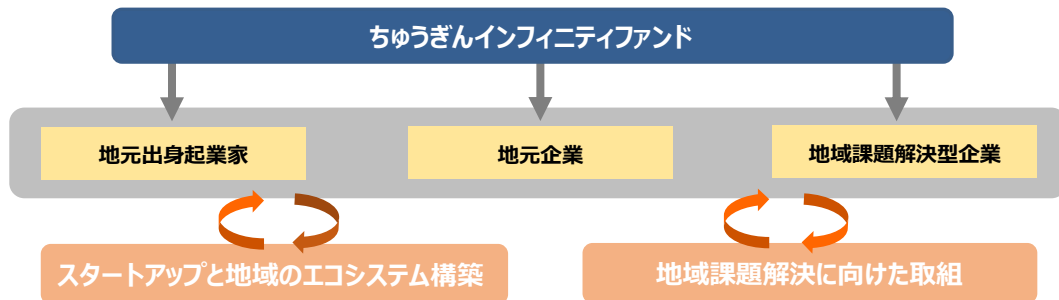
当社は「一人ひとりに向き合えるを具現化する」ことをミッションとしています。今回の調達を元に、このミッションをさらに大きく、高いレベルで実現してまいります。



2. 「ちゅうぎんインフィニティファンド」の概要

名 称	ちゅうぎんインフィニティファンド1号投資事業有限責任組合
運 営 会 社	中銀リース 株式会社
出 資 者	当行、中銀リース 株式会社 (総額5億円)
投 資 対 象	革新的な事業により成長が期待される未上場企業 株式上場が期待される未上場企業
存 続 期 間	約8年間 (令和9年12月31日まで)

【ファンドイメージ】



以 上